

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

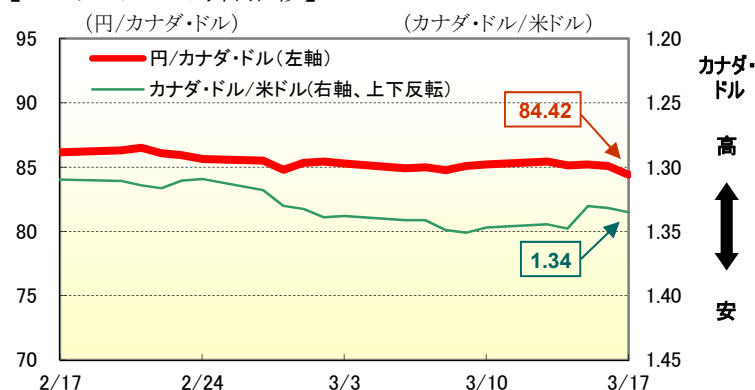
【2017年3月11日～2017年3月17日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国のFOMC(米国連邦公開市場委員会)では事前の予想通り利上げが実施されましたが、今後の利上げペースについては市場が警戒するほどの積極的な内容とならなかったことで、米国の金利が低下し、カナダの金利もそれに連れて低下しました。オランダの総選挙は現与党が第一党を維持し、波乱なく終了したことからユーロ圏分裂への懸念が後退し、金利の上昇要因となりました。為替市場については、米国金利の低下から米ドル安となる一方、円高が進んだことで、カナダ・ドル円相場は下落しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年2月17日～2017年3月17日)



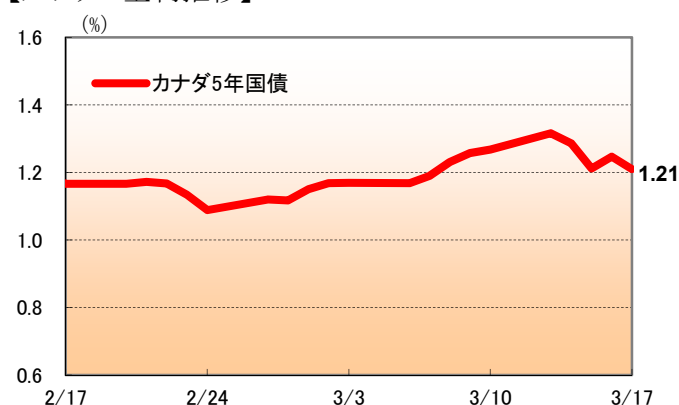
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は、米国のイエレンFRB(米国連邦準備制度理事会)議長などFRB高官の講演が多数予定されており、今後の利上げに関する発言に注目が集まりそうです。

カナダではCPI(消費者物価指数)などの経済指標が発表されますが、市場予想を上回る堅調な結果となれば、金利およびカナダ・ドルの上昇に寄与するとみられます。オランダの総選挙は波乱なく通過したものの、フランス大統領選挙への思惑は引き続き市場を動かす要因になりそうです。

【カナダ 金利推移】 (2017年2月17日～2017年3月17日)



### 【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考) 前回
3/21	毎月	2017年1月	小売売上高(前月比)	2.2%	-0.4%
3/24	毎月	2017年2月	消費者物価指数(前年同月比)	-	2.1%

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>